

---

# 実験作 リリカルなのは 転生最強オリ主

南斗鳳凰拳・聖帝 サウザー

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

実験作 リリカルなのは 転生最強オリ主

### 【Nコード】

N3871T

### 【作者名】

南斗鳳凰拳・聖帝 サウザー

### 【あらすじ】

テンプレ最強転生オリ主の生涯。

## （前書き）

テンプレ物が好きな方、注意してください。アンチです。

一人の男が何も無い真っ白な空間に漂っていた。年は20代前半の様で何処にでもいそうな特徴のない日本人男性の様だ。

俺は今どこにいるんだ。周りには何もなくただ真っ白な空間があるだけだ。俺は大学の帰りにオートバイでトラックに衝突した様な気がしてんだが……。

この空間は上下や重さの概念がないのか？目は見えるが体は言う事を聞かない。

「どうやら目が覚めた様じゃな？」

男の前には古代ローマ人が纏うような白い貫頭衣を身につけ、長く白いひげを蓄えた70代くらいの老人が現れる。頭は禿げあがっており、顔には深いしわが刻まれていた。

「どうやら口が動かないようじゃな。ほらこれでどうじゃ？」

その老人は男に向かいまばゆい光を放つ。すると男は体の自由を取り戻したのか、老人に声を返す。

「此処は何処なんです。あなたは誰なんですか？」

老人は頬笑みながら彼の問いに答える。

「此処は、お前に分かりやすく言えば死後の世界というもののじゃ。そしてワシは神じゃよ」

「えっ？死後？それに神だって？」

「お前にも分かりやすい形で姿を作ったらこのような姿になったのじゃ。それで、いきなりのことと悪いんじゃが、お前さんに転生してもらいたくての。お前さんが死んだのはワシのミスなんじゃよ」

老人の言葉に男はそれまでと違い荒々しい言葉を発する。

「ミスだと？ふざけるな！！それにいきなり神だの転生だの言い出して何のつもりだよ！俺を元の場所に帰してくれ！！」

神と名乗る老人のふざけた物言いに怒り、男は言った。

「それは無理じゃ。お前を転生させる事は決定事項じゃからな。元に戻すよりも手間がかからんのじゃよ。それに死んだ人間を転生させるのが流行っているの。お前さんには記憶を引き継がせるしチート能力もやろう。新しく生まれ変わる世界は『魔法少女リリカルなのは』の世界じゃ。原作キヤラ達と同世代にしてやるしハーレムを作るのも自由じゃ。どうじゃ？嬉しいじゃろ？」

「手間がかかる？アンタ、人の命を何だと思ってるんだ！！自分のミスで死なせておいて、いきなり転生しろだの、人を馬鹿にするのも大概にしる！！『リリカル』は知っているが、何故俺なんだ！あんたが神なら俺を生き返らせる！！」

神と名乗った老人は男の言葉を見殺し、転生の説明を続けた。男は老人に怒りをぶつけ続けたのだが、何を言っても無駄だと分かると

抵抗するのを辞めた。

「魔力量はEX。あらゆる術を覚えられるセンスに、瞬間記憶能力。顔もイケ面にしてやるぞい。」

老人は男に勝手に能力を付与していく。男の顔は老人によって、絶世の美男子の様なものに変えられ、髪も銀色に、瞳も赤とグリーンのおッドアイに変えられた。

男はもう抵抗する気力を失っていた。

「お前の眼は片方は『万華鏡車輪眼』にしてやったぞ。おッドアイじゃ、嬉しいじゃろ？」

男の体を改造し終え、老人は言う。

「じゃあ、お前さんはこれから最強の人間として『リリなの』の世界で生きてもらう。ワシもたまにお前の頭に声を送るからな。元気で暮らせよ」

老人は男を光で包みこむとその空間から別の世界に送り出した。『リリカルなのは』の世界へと……。

男は心が死んだ。いや、神と名乗る理不尽な存在に殺されたのだ。男はその後、転生し『リリカルなのは』の世界の名もなき夫婦の息子として生を受ける。

男は全てに諦めていた。自分は今元の世界には戻れない。神という存在に悪戯に運命を弄ばれ、この世界で生きていくしかない。

神は事あるごとに彼の意識の中に現れ、行動を指示していく。男はその通りに行動をした。幼少の頃のなのはに近づき、交流を持ち聖祥小学校にも入学した。神の与えた能力により全てにおいて万能であった。男の行動に自分の意志は存在せず、全て神の指示通りに動いた。

彼は神の操り人形となったのだ。

原作キャラ達と関わり続け、神によりデバイスも与えられ魔導師として覚醒する。『PT事件』や『闇の書事件』でも活躍をする。神の指示に従い『PT事件』ではフェイトに魔法を放ったクロノに攻撃を加え、『闇の書』事件では管制人格の消滅を防いだ。グレアムに対して制裁も加えた。

その後、中学を卒業と共に管理局に入局し、数年後スカリエッティ側に寝返り、管理局の不正を暴き崩壊させたりした。評議会の三人を殺害し、レジアスもその手に掛けた。

全てが神の指示だった。

原作キャラで彼に関わった者たちは、彼の行動に非難をする事はなかった。

全ての者が彼の行動を賞賛した。原作の女性キャラ達も彼に惚れていき、彼はハーレムを形成した。

彼はその能力により生涯一度の敗北もしなかった。苦戦する事もなかった。

その後、彼は80歳位まで生き、生涯を終えた。

最強のオリ主としての彼の二度目の人生は幸せだったと言えるのだろうか……。



（後書き）

私がテンプレを書くところになります。思いついて15分位で書きあげました。神のミスが元で転生させられる場合、主人公って簡単に受け入れ過ぎじゃないかと思う。普通なら怒るでしょう。神を殺せる能力がもらえたら私なら絶対復讐を考えます。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n3871t/>

---

実験作 リリカルなのは 転生最強オリ主

2011年10月9日01時22分発行